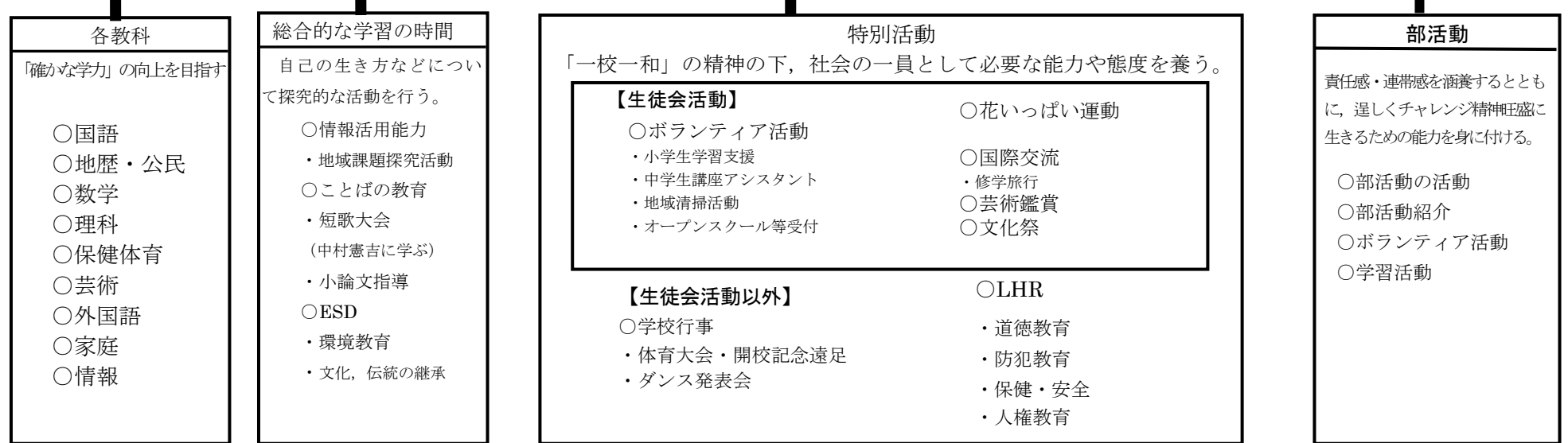


各学年のキャリア教育目標		
1 学年	2 学年	3 学年
○三高生としての自覚をもち、異文化理解に努めるとともに、コミュニケーション能力を身に付け、進路について主体的、積極的に考える態度を養う。	○三高生としての誇りを持つとともに、課題を解決する力を身に付け、進路実現に向けて必要な情報を収集・活用し、計画的かつ具体的な進路目標を確立できる。	○三次高校の最高学年としての責任ある行動がとれるとともに、自立的に行動し、より高いレベルの進路を実現する。
1 学年の具体的な取組 <ul style="list-style-type: none"> グローバルスタディ 学部・学科調べ 海外インターンシップ 広島大学出張講座 広島大学オープンキャンパス 地域課題探究活動 	2 学年の具体的な取組 <ul style="list-style-type: none"> 地域課題探究活動 グローバルスタディ、第二外国語講座 海外修学旅行の実施(姉妹校との交流) 海外インターンシップ 文化祭展示発表 修学旅行事前事後研究 課題研究 	3 学年の具体的な取組 <ul style="list-style-type: none"> 課題研究 個別面接 進路講演会 進路希望調査 先輩の話を聴く会 入学・入社試験指導 ビジネスマナー講座
<ul style="list-style-type: none"> ・親のせなか(保護者によるキャリアアドバイス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・親のせなか(保護者によるキャリアアドバイス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・親のせなか(保護者によるキャリアアドバイス)



キャリア教育の評価方法	
アウトプット評価の具体的方策	アウトカム評価の具体的方策
<ul style="list-style-type: none"> アンケート等を実施し、学年会や進路検討会議で課題を共有する。 インターンシップを実施し、事前事後のアンケートを実施する。 キャリア教育の取組を通しての生徒の変容に関わるアンケートを実施する。 地域課題探究活動等において成果発表を行い、事前事後アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアノート作成及び進路面接の実施により生徒の成長や変容についての評価を行う。 キャリアノートの記入内容により、キャリア教育の取組に関する振り返り及び検証を行う。 発表会や学校行事を通して生徒自身の成長や変容を実感させる。

改善策の検討方法

・2月末を目途に、キャリア学習に係るカリキュラムや指導内容・評価方法について、進路指導部を中心に各分掌及び学年会で改善策を検討し、年度末までに校務運営会議で次年度の方向性を決定する。

・各種アンケートの結果を参考にして、改善策を教育研究部を中心とした各種関係会議等で検討し、具体的な指導改善策を策定する。